



新道峠からの眺望（写真提供：笛吹市）

◆ 目 次 ◆

○会長あいさつ	2ページ
○山梨労働局職業安定部長あいさつ	3ページ
○山梨県産業労働部長あいさつ	4ページ
○令和3年度定時総会	5ページ
○令和3年度事業計画（概要）	7ページ
○安全・適性就業推進委員会	10ページ
○高齢者活躍人材確保育成事業	11ページ
○最近のシルバー人材センター事業実績	14ページ
○令和2年度シルバー人材センター事業状況	15ページ
○お知らせ・編集後記	16ページ



「さらなるシルバー事業の推進に向けて」

山梨県シルバー人材センター連合会 会長 小林 信保

関係各位には、日頃から、シルバー事業に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年から「新型コロナウイルス感染症」が世界的にまん延し、国内でも未だ感染が拡大を繰り返しており、産業界や経済活動等は大きなダメージを受けています。

本県におきましては、比較的感染者が少なく推移していましたが、本年度に入り徐々に感染者が増え続け、8月には政府から新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が適用されたところであり、シルバー事業におきましても、ご家庭や事業所からの発注控え、観光業・宿泊業をはじめとした休業や各種イベントの中止等により影響が出ております。

令和2年度の本県シルバー人材センター事業を前年度と比較しますと、契約金額ベースでは、請負・委任につきましては6.8ポイントのマイナス、派遣につきましては昨年度後半持ち直したことから4.1ポイントのプラスでしたが、トータルでは4.8ポイントのマイナスとなりました。

会員数につきましては、コロナウイルス感染が続いているので退会するという方もおり、1.2ポイントのマイナスとなりました。

こうした状況ではありますが、少子高齢化の進展や労働力人口の減少等による人手不足などにより、生きがい就労提供の場や働き手として、また、地域の支えとしてシルバー人材センターへの期待が高まっています。

また、シルバー事業は、地域の日常生活に密着した就業を提供することにより、高齢者の社会参加を促し、生きがいや健康の保持増進に加えて、健康寿命に寄与し、ひいては医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

そのため、本年度は『第2次会員百万人達成計画』に基づく「会員の増大及び地域ニーズに対応した就業機会の拡大」・「シルバー派遣や業務拡大による多様な働き方の推進」・「新型コロナウイルス感染予防等に十分配慮した安全で適正な業務運営」・「地域社会や労働局、山梨県、自治体等の関係機関との連携」・「人手不足分野等を支える新規事業への対応」などを重点項目として事業推進に取り組んでまいります。

こうした事業実施のため、今年度におきましても連合会と各拠点センターが、さらに連携を密にして事業の推進に努めていく考えでおりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



生涯現役社会の実現に シルバー人材センターは不可欠な存在

山梨労働局 職業安定部長 安井 雄一

山梨県シルバー人材センター連合会をはじめ、県内各拠点シルバー人材センターの皆様におかれましては、日頃より労働行政の業務推進につきまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私事になりますが、4月に山梨県に赴任いたしまして5ヶ月が経過しようとしております。全国でも常に上位の暑さを実感しながらも、日々美しい山並みや新鮮な果物に癒やされながら山梨県での生活を過ごしております。

さて、県内の雇用情勢は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、本年6月の県内有効求人倍率は1.26倍と5ヶ月連続で上昇しており、雇用情勢は改善の兆しが広がりつつあります。

一方で、皆様もご承知のとおり、少子高齢化を背景として労働力人口は減少の一途を辿っており、人手不足分野を中心に労働力不足の深刻化が続いております。

そのような中、本年4月から、70歳までの就業確保措置が企業の努力義務とされる等の「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正法が施行され、それに併せて「高年齢者等職業安定対策基本方針」も改正されました。

基本方針では、「少子高齢化が急速に進行し人口が減少する我が国においては、経済社会の活力を維持するため、全ての年代の人々がその特性・強みを活かし、経済社会の担い手として活躍できるよう環境整備を進めることが必要である。特に、人生100年時代を迎える中、働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高年齢者が活躍できる環境整備を図っていくことが重要である。」とするとともに、「高齢期には、個々の労働者の意欲、体力等個人差が拡大し、その雇用・就業ニーズも雇用就業形態、労働時間等において多様化することから、このような多様なニーズに対応した雇用・就業機会の確保を図る。」とされており、シルバー人材センターの活用推進も示されております。

シルバー人材センターは、多様な働き方での就業を希望する高齢者の活躍の場として、先駆者であり中心的な存在です。人生100年時代を迎えるにあたって、1人でも多くの高齢者が、生き甲斐を持ち、雇用・就業を通じて地域・社会に貢献していただける生涯現役社会の実現に向けて、請負や派遣などの多様な就業機会と、地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センターは不可欠な存在と確信しております。

最後に、今後とも、シルバー人材センターの益々の御発展、会員の皆様の御活躍と御健勝を御祈念申し上げますとともに、山梨労働局及びハローワークとの一層の連携につきましても、よろしくお願い申し上げます。



『シルバー人材センター事業の推進について』

山梨県産業労働部長 小林 厚

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会及び各拠点シルバー人材センターの皆様には、日頃から県政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

特に、県の埋蔵文化財調査につきましては、シルバー人材センターの派遣により人材確保に御協力いただいております、心より感謝申し上げます。

さて、県が毎年実施している高齢者福祉基礎調査によりますと、本県における令和3年4月1日現在の65歳以上の高齢者人口は25万2千人で、総人口の30.8%を占め、全国平均の28.9%と比べて1.9ポイント上回っており、本県は全国より早く高齢化が進んでいる状況となっています。

急速な高齢化が進む中であって、高齢者が生きがいを感じながら、元気に活躍する社会を実現していくためには、長い人生経験で培った豊富な経験と知識を生かして、就労の担い手となって地域を支えていただくことが不可欠であり、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要となってきています。

昨年来流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、シルバー人材センターにおいても、業務発注の減少や派遣先の業務停止が生じるなど困難な状況にあると伺っております。このような中、新規会員の募集や新たな就業先の開拓などシルバー人材センター事業の活力維持に鋭意取り組まれている役職員や会員の皆様の御努力に敬意を表する次第です。

県では、これまで、農業、クリーンセンターにおける分別作業など16職種について、就労時間の上限を週40時間まで延長する指定を行い、働くことができる機会を広げてきました。今後も多くの職種の指定に努め、高齢者の様々な就労ニーズに応えて参ります。

シルバー人材センターにおかれましても、引き続き、会員の確保に努めていただくとともに、長年培ってこられた知識や技能が発揮できる新規事業の開拓など、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会の提供に積極的に取り組んでいただき、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進、活力ある地域づくりにつながりますよう、御尽力をお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和3年度 定時総会開催される

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の令和3年度定時総会が去る6月22日に山梨県立男女共同参画推進センター「びゅあ総合」において、議決権行使書を含め全会員の出席のもと、「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため出席人数を制限して、ご来賓の方々にもご辞退いただく中で開催されました。

小林会長のあいさつに続いて、小林議長の議事進行により、報告事項4件、議決事項3件が審議されました。提出された議案につきましては、全て議案どおり承認され、無事終了することができました。

また、当日で退任される理事5名の後任理事5名が選任されました。

承認いただきました事案は次のとおりであります。

- ① 報告第1号 令和2年度収支補正予算について
- ② 報告第2号 令和2年度事業報告について
- ③ 議案第1号 令和2年度収支決算について（監査報告）
- ④ 議案第2号 定款の変更について
- ⑤ 議案第3号 補欠役員の選任について
- ⑥ 報告第3号 令和3年度事業計画について
- ⑦ 報告第4号 令和3年度収支予算及び収支補正予算について



定時総会（小林会長あいさつ）

理事 5 名が新たに選任されました

当連合会の理事でありました溝口総三郎氏、上村英司氏、増原俊郎氏、加藤俊徳氏、長瀬博志氏が6月22日をもって辞任したことに伴い、後任として奥脇祥一氏、内藤久夫氏、細野幸男氏、矢崎幹男氏、河野修氏が定時総会において理事に選任されました。総会終了後、開催されました理事会において、常務理事に河野修氏が選定されました。

公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	小 林 信 保	(公社)東部広域シルバー人材センター
副 会 長	田 中 敏 彦	学識経験者
常 務 理 事	河 野 修	(公社)山梨県シルバー人材センター連合会
理 事	齋 城 和 久	(公社)甲府市シルバー人材センター
理 事	鈴 木 幹 夫	(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター
理 事	奥 脇 祥 一	(公社)富士五湖広域シルバー人材センター
理 事	内 藤 久 夫	(公社)峡北広域シルバー人材センター
理 事	細 野 幸 男	(公社)峡南広域シルバー人材センター
理 事	保 坂 武	(公社)峡中広域シルバー人材センター
理 事	矢 崎 幹 男	(公社)南アルプス市シルバー人材センター
理 事	山 下 政 樹	(公社)笛吹市シルバー人材センター
監 事	内 藤 運 富	学識経験者
監 事	野 崎 行 廣	学識経験者

各シルバー人材センター 理事長(会長)・事務局長名簿

シルバー人材センター名	理事長(会長)	事務局長	設立年月
(公社)甲府市シルバー人材センター	齋 城 和 久	仲 沢 章	S56. 4
(公社)東部広域シルバー人材センター	小 林 信 保	白 鳥 公 勇	S63. 4
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	鈴 木 幹 夫	曾 根 浩	H 2. 4
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	堀 内 茂	奥 脇 祥 一	H 2.10
(公社)峡北広域シルバー人材センター	内 藤 久 夫	山 本 信	H 3. 1
(公社)峡南広域シルバー人材センター	志 村 学	細 野 幸 男	H 3.11
(公社)峡中広域シルバー人材センター	保 坂 武	生 山 勝	H 4. 2
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	金 丸 一 元	矢 崎 幹 男	H 4. 3
(公社)笛吹市シルバー人材センター	山 下 政 樹	小 宮 山 和 人	H 4. 6
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会	小 林 信 保	河 野 修	H10.10

令和3年度 事業計画（概要）

第1 シルバー事業を取り巻く状況

シルバー事業は、昨年発生した新型コロナウイルス感染症の影響で就業の中断や縮小廃止等の状況が起こり、「新しい生活様式」を踏まえて、必要な感染症防止対策を講じつつ、就業機会の確保と創出を行い、コロナ禍と共存した生きがい就業の充実を図る必要がある。

また、人手不足分野等における就業の担い手となる高齢者の活躍が期待される中、会員の入会促進や退会抑制も押し進めていくことが課題である。

このため、引き続き「第2次会員百万人達成計画」に基づく会員の増大と地域のニーズに対応した就業機会の拡大に取り組むこととする。

第2 事業の展開

少子高齢化社会で労働力人口が減少する中、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められており、そうした期待に対して、組織の拡大や事業の一層の活性化等目に見える実績を示すことで応えていく必要がある。

このため、高齢者や企業の多様なニーズに応えるべく連合会と各拠点センターがより一層の連携を図り、次の5つの事項を重点として事業の展開を図ることとする。

1 会員の増大及び就業機会の拡大

全シ協が示した「第2次会員百万人達成計画」に基づき会員拡大を図る。特に女性会員の確保に努め目標達成を図る。

2 多様な働き方の推進

高齢者の多様なニーズに応えるため、従来の請負・委任業務に加え高齢法第39条に基づく業務拡大も視野に入れた派遣事業の推進に努める。

3 安全・適正な業務運営

安全で適正な就業は、シルバー事業において基本となるものであり、傷害・損害事故等の防止や新型コロナウイルス感染症対策に努め、法令順守の立場から適正就業ガイドラインに基づき、不適正な請負・委任契約における就業の根絶や「臨・短・軽」の基本的な就業形態を逸脱した就業の是正等に努める。

4 地域社会や関係機関との連携

シルバー人材センターのボランティア活動等地域社会への積極的な参加や地方自治体との連携、ハローワーク等関係機関及び業界団体等との情報交換の強化などに努める。

5 新規事業への対応

国や県への補助事業や地方自治体との連携等、新規事業への積極的な取組により組織運営に必要な財源確保を図り、安定的な事業運営に努める。

第3 事業計画

連合会は各センターと連携して、会員や発注者のニーズに応えるべく以下の各事業を行う。

1 研修事業

シルバー事業の組織運営や事業運営に当たっては役職員及び会員がシルバー事業の理念を十分理解し、業務に必要な知識を得ることが必要で、これらの事業運営を行うための研修会に参加、経理研修（インボイス制度対応）や事業を実施する。

- (1) 中央研修会（会長・局長研修、派遣元・職業紹介責任者講習、関プロ研修等）参加
- (2) 連合会が行う研修会（経理研修等）実施

2 安全・適正就業

- (1) 安全就業（安全・適正就業強化月間（7月）の設定、安全・適正就業推進委員会開催、安全パトロールの実施、安全標語の募集等）
- (2) 適正就業（適正就業ガイドライン、受注リストの点検等）

3 シルバー派遣事業

- (1) シルバー派遣事業運営委員会の開催
- (2) 高齢法39条に基づく業務拡大、衛生委員会の設置等

4 職業紹介事業

- (1) 60歳以上で「臨・短・軽」の雇用を希望する方に職業を紹介する。

5 普及啓発事業

- (1) 普及啓発促進月間（十月）の設定
- (2) 広報・普及啓発活動の推進

6 指導事業

- (1) 公益社団法人として組織運営・財政運営の確立等の指導

7 情報の収集・提供等

- (1) シルバー事業に関する情報の調査・収集及び周知
- (2) センター間における調整等

8 就業機会の開拓・拡大

- (1) 県下事業所等への訪問による就業開拓・拡大
- (2) イベント会場等における就業機会の開拓

9 新規事業への検討

- (1) 人手不足分野や地域のニーズに対応した新規事業に対して地方自治体等と連携し積極的な参入に努める。

第4 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、シルバー人材センターの周知・広報等を積極的に行い会員増と当該分野での高齢者の就業を推進する。

- (1) 高齢者や企業に対する周知・広報の実施
- (2) シルバーに関心のある高齢者や企業に対する就業体験の実施
- (3) シルバーの就業を希望する高齢者等に対する技能講習の実施
- (4) 連絡会議の開催（国・県・シルバー連合・労使団体等）

第5 法人管理事業

1 正会員・賛助会員の拡大

2 諸会議の開催及び参加

- (1) 定時総会及び理事会等の開催
- (2) 全シ協定時総会・事務局長会議等、関東ブロック協議会理事会・事務局長会議等への参加



令和3年度 安全・適正就業推進委員会を開催する

令和3年度第1回安全・適正就業推進委員会が去る7月1日に甲府市「ぴゅあ総合」において開催されました。7月の強化月間の令和3年度の取り組み方針の徹底、本県連合内からの事故根絶を目指すことや、強化月間中の各センターの事業の取り組み計画及びパトロール計画などが確認されました。

また、令和3・4年度の安全標語入賞作品5点が決定されました。

【最優秀賞】

「忘れるな 基本動作と 正しい手順」

(公社) 笛吹市シルバー人材センター 小林元春 様

【優秀賞】

「気配りと 心のゆとりが 身を守る」

(公社) 峡南広域シルバー人材センター 長田 登 様

【佳作】

「あせらずに 一つの作業を 確実に」

(公社) 峡北広域シルバー人材センター 渡辺嘉也 様

【佳作】

「慢心の 心のすきまに 怪我一生」

(公社) 南アルプス市シルバー人材センター 清水まさ子 様

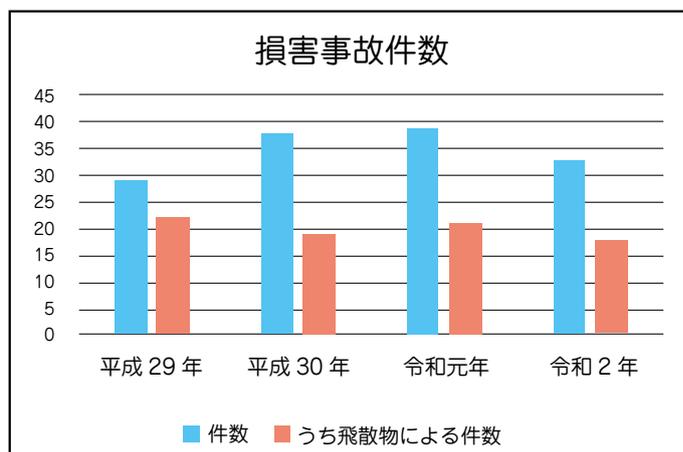
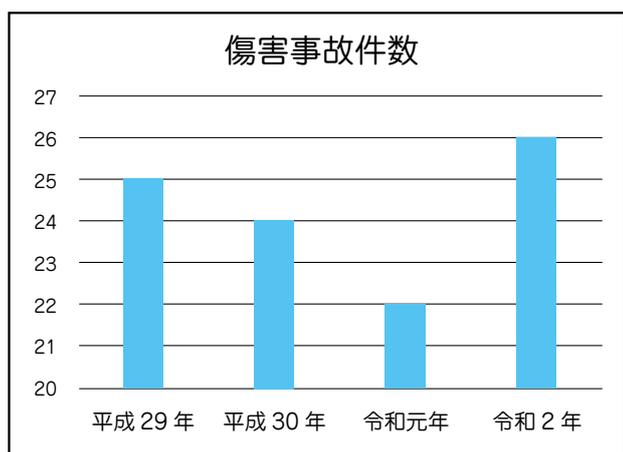
【佳作】

「慣れた頃 危険は秘かに やってくる」

(公社) 峡中広域シルバー人材センター 小田切まり子 様

傷害・損害事故件数の推移

区 分		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
傷害(転倒・転落等)	件数	25	24	22	26
損害(対人、対物)	件数	29	38	39	33
	うち飛散物による件数	22	19	21	18



高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題であります。

こうした中、本年度もシルバー事業やシルバー人材センターを広く知っていただくため、テレビやラジオのスポットコマーシャルや「いきいきセカンドライフセミナー」などを開催し、高齢者や企業等に対し積極的に周知・広報することとします。また、会員確保のための各種技能講習会、遺跡発掘体験見学会の開催や、県内の労働団体、経済団体、国・県、シルバー連合が一体となった「やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議」を開催してシルバー会員の獲得や就業機会・職域拡大、シルバー派遣の活用等について意見交換をし、地域におけるシルバーの更なる活用促進を目指すこととします。

【やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議委員名簿】

団体・機関名	役職・氏名	団体・機関名	役職・氏名
山梨労働局職業対策課	課長 齋藤 章司	山梨県商工会連合会連合会	課長 花輪 厚貴
山梨県労政雇用課	課長 渡辺 一秀	山梨県商工会議所連合会	事務局長 越石 寛
連合山梨	事務局長 窪田 清	山梨県中小企業団体中央会	課長 古屋 孝明
山梨県経営者協会	専務理事 一之瀬 滋輝	シルバー人材センター連合会	事務局長 河野 修



連絡会議

遺跡発掘調査の説明会・就業体験

山梨県埋蔵文化財センターよりシルバー人材センターに県内の広範囲にわたる埋蔵文化財の「遺跡発掘調査」の仕事の依頼がありました。

埋蔵文化財とは、土地に埋蔵されている文化財（建物跡・古墳・土器など）、土地に残された昔の人々の生活の痕跡（遺跡）のことをいいます。新しく建物や道路が造られると、その地下にある埋蔵文化財は壊れてしまいます。そのため、発掘調査によってどのような遺跡なのかを調査し、記録して保存するものです。

シルバー会員は、道具を使い手作業で地面を剥ぎながら遺構を探していきます。シルバー会員にとって、初めての就業であり、連合会では高齢者活躍人材確保事業として説明会と就業体験を開催し、すでに8月から約80人の会員が就業しています。来年度からは業務拡大も予定しています。



説明会



就業体験

「受講者の声」

空き家管理のドローン講習会に参加して

都留市 元木 公彦

朝刊のチラシに「ドローン」の文字。

シルバー人材センター連合会の主催する「空き家管理のためのドローン講習会」に心が舞って運良く機会を得て、当日の会場には多数の受講者が赤い屋根を目指した。

まずは、富士吉田警察の2名の講師から「空き家管理」の重要性、近隣の生活を守る、空き家のトラブルを出さないための対策が法律を踏まえ、その意義を認識した。

次にサイトテックによる「小型無人機」であるドローンに係る航空法や電波法、個人情報保護の基本を知り、他社の安全を守り危険を未然に防止するプロ意識に触発された多数の質問者でヒートアップ。

最後は位置情報やGPSを備えた二種類のドローンの実技講習。シルバー世代の真骨頂である「穏やかに」「控え目」が操縦のキーワードとなり熱い時を過ごした。

今後、少子高齢化社会において、シルバー世代が可能な社会環境整備に参画し、この講習会を活かし、自らの生きがいをシルバー人材センターで得られるように働いていきたい。



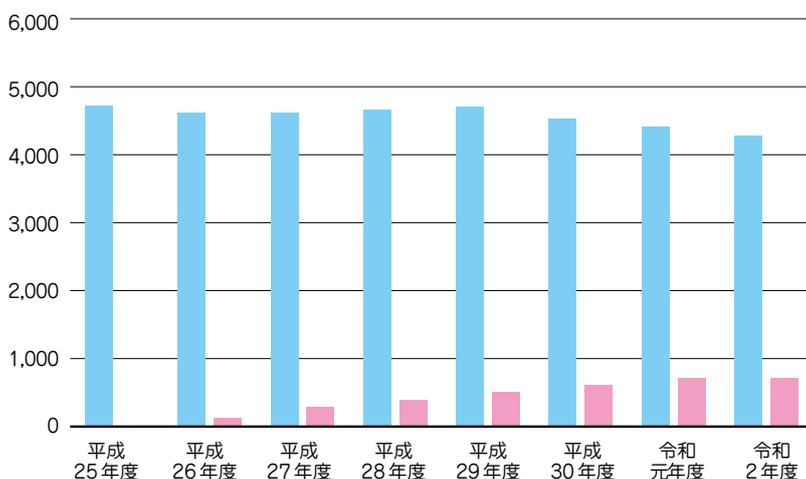
ドローンの実技講習

最近の

山梨県シルバー人材センター連合会事業実績

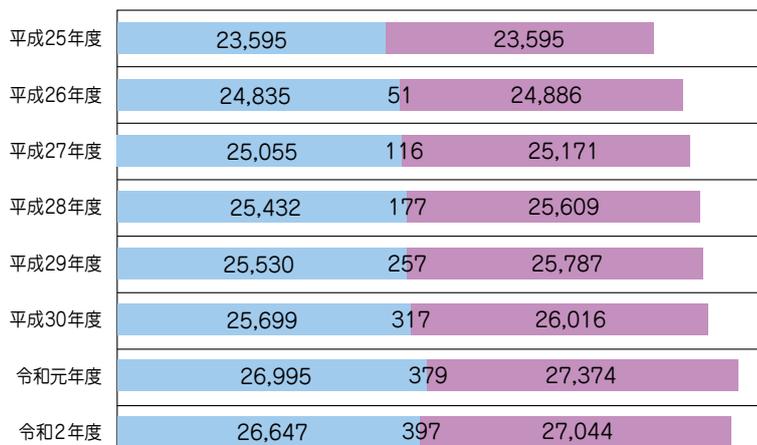
会員数の推移

区分	会員数	
	計	うち派遣
	人	人
平成25年度	4,775	
平成26年度	4,668	122
平成27年度	4,666	293
平成28年度	4,701	397
平成29年度	4,744	506
平成30年度	4,573	612
令和元年度	4,462	708
令和2年度	4,319	711



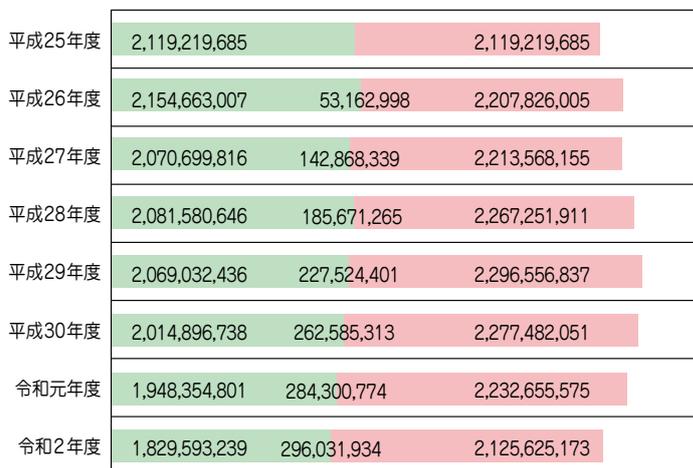
契約件数の推移

区分	契約件数		
	請負・委任	派遣	計
	件	件	件
平成25年度	23,595		23,595
平成26年度	24,835	51	24,886
平成27年度	25,055	116	25,171
平成28年度	25,432	177	25,609
平成29年度	25,530	257	25,787
平成30年度	25,699	317	26,016
令和元年度	26,995	379	27,374
令和2年度	26,647	397	27,044



契約金額の推移

区分	契約金額		
	請負・委任	派遣	計
	円	円	円
平成25年度	2,119,219,685		2,119,219,685
平成26年度	2,154,663,007	53,162,998	2,207,826,005
平成27年度	2,070,699,816	142,868,339	2,213,568,155
平成28年度	2,081,580,646	185,671,265	2,267,251,911
平成29年度	2,069,032,436	227,524,401	2,296,556,837
平成30年度	2,014,896,738	262,585,313	2,277,482,051
令和元年度	1,948,354,801	284,300,774	2,232,655,575
令和2年度	1,829,593,239	296,031,934	2,125,625,173



令和2年度

シルバー人材センター事業状況

令和2年度 シルバー人材センター実績表

(令和2年4月～令和3年3月)

シルバー人材センター名	月末会員数(人)									就業実員数		就業率		事業別就業延日人員(人日)			事業別契約件数(件)		
	男	入会 退会	女	入会 退会	計	入会 退会	うち派遣登録			請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	合計	請負 委任	派遣	合計
							男	女	計										
(公社)甲府市シルバー人材センター	368	34	188	39	556	73	79	15	94	449	71	80.8%	75.5%	43,899	5,315	49,214	5,458	40	5,498
	▲30	64	▲11	50	▲41	114													
(公社)東部広域シルバー人材センター	243	36	78	17	321	53	19	1	20	263	22	81.9%	110.0%	23,133	3,247	26,380	2,149	4	2,153
	▲22	58	1	16	▲21	74													
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	257	30	159	20	416	50	27	10	37	376	38	90.4%	102.7%	32,096	3,890	35,986	1,851	20	1,871
	▲20	50	▲16	36	▲36	86													
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	354	70	145	43	499	113	45	13	58	420	44	84.2%	75.9%	40,437	3,672	44,109	1,956	20	1,976
	16	54	19	24	35	78													
(公社)峡北広域シルバー人材センター	327	44	113	14	440	58	31	22	53	388	50	88.2%	94.3%	34,114	3,665	37,779	3,256	26	3,282
	▲16	60	▲16	30	▲32	90													
(公社)峡南広域シルバー人材センター	268	41	145	30	413	71	53	4	57	319	74	77.2%	129.8%	21,460	7,236	28,696	2,260	74	2,334
	12	29	6	24	18	53													
(公社)峡中広域シルバー人材センター	482	53	224	39	706	92	164	65	229	565	158	80.0%	69.0%	60,738	14,075	74,813	3,269	133	3,402
	▲24	77	▲11	50	▲35	127													
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	277	47	164	20	441	67	39	43	82	350	57	79.4%	69.5%	31,464	4,491	35,955	2,486	34	2,520
	2	45	▲10	30	▲8	75													
(公社)笛吹市シルバー人材センター	346	30	181	25	527	55	66	15	81	376	79	71.3%	97.5%	36,485	7,760	44,245	3,962	46	4,008
	▲14	44	▲9	34	▲23	78													
合計	2,922	385	1,397	247	4,319	632	523	188	711	3,506	593	81.2%	83.4%	323,826	53,351	377,177	26,647	397	27,044
	▲96	481	▲47	294	▲143	775													

シルバー人材センター名	契約金額(円)											
	請負・委任契約金額			派遣事業契約金額			事業別契約金額			金額割合		
	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	
(公社)甲府市シルバー人材センター	47,131,466	158,342,346	205,473,812	5,903,858	21,531,954	27,435,812	53,035,324	179,874,300	232,909,624	22.8%	77.2%	
(公社)東部広域シルバー人材センター	51,520,135	89,326,850	140,846,985	5,134,362	18,173,918	23,308,280	56,654,497	107,500,768	164,155,265	34.5%	65.5%	
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	74,984,983	90,413,764	165,398,747	20,940,285	5,496,802	26,437,087	95,925,268	95,910,566	191,835,834	50.0%	50.0%	
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	140,751,568	160,229,524	300,981,092	9,476,563	7,441,903	16,918,466	150,228,131	167,671,427	317,899,558	47.3%	52.7%	
(公社)峡北広域シルバー人材センター	69,975,937	140,715,202	210,691,139	11,880,287	11,052,337	22,932,624	81,856,224	151,767,539	233,623,763	35.0%	65.0%	
(公社)峡南広域シルバー人材センター	61,026,876	77,759,046	138,785,922	20,323,601	16,718,103	37,041,704	81,350,477	94,477,149	175,827,626	46.3%	53.7%	
(公社)峡中広域シルバー人材センター	167,891,109	152,357,098	320,248,207	41,963,871	30,794,088	72,757,959	209,854,980	183,151,186	393,006,166	53.4%	46.6%	
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	41,058,347	116,891,416	157,949,763	7,927,447	14,813,537	22,740,984	48,985,794	131,704,953	180,690,747	27.1%	72.9%	
(公社)笛吹市シルバー人材センター	69,404,082	119,813,490	189,217,572	23,848,223	22,610,795	46,459,018	93,252,305	142,424,285	235,676,590	39.6%	60.4%	
合計	723,744,503	1,105,848,736	1,829,593,239	147,398,497	148,633,437	296,031,934	871,143,000	1,254,482,173	2,125,625,173	41.0%	59.0%	

◆お知らせ◆

【全シ協会長表彰】

去る6月24日開催の令和3年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）定時総会において、長年にわたりシルバー人材センター事業にご貢献をされました公益社団法人峡中広域シルバー人材センターの保坂武理事長がその功績を称えられ表彰されました。受賞おめでとうございます。

【全シ協役員就任】

去る6月24日開催の令和3年度公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）定時総会において、公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の小林信保会長が第21期役員（監事）に就任されましたので報告します。

新型コロナウイルスの世界的流行により1年延期となった東京五輪が、コロナ禍の中、無観客という異例の形で開催され、スポーツを通して感動と勇気を与えてくれました。

しかしながら、新型コロナウイルスは変異株が現れるなど未だ感染拡大を繰り返しており、シルバー事業も、契約金額の減少などその影響を受けており、コロナの一日も早い収束を願うばかりであります。

さて、当連合会の役職員に異動がありました。皆様に期待されるシルバー事業の推進にこれからも役職員一丸となって取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集 後記

◇事務局職員の異動◇

【採用】 事務局長 河野 修（令和3年4月1日）
事務局長次長 今泉 輝史（令和3年4月1日）
会計年度任用職員 山口 きく江（令和3年4月1日）

【退職】 事務局長 長瀬 博志（令和3年3月31日）
会計年度任用職員 内藤 洋子（令和3年3月31日）

シルバー
やまなし

第40号

●編集発行
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会
甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F
TEL055-228-8383

●令和3年9月発行
●印刷所 アイプランニング